



翫夜語
黃

^ 13
2701
2



伊13
2649
2

新齋夜話卷之二

三 小西氏の處女天遇の始を記す

慶長の末年。浪花天満の口。小薬種坊高小西何某といつる
ものあり。りて。棟高く。住なり。貨財乏し。かゝる。り。
一人の處女。嫁して。掌中。れ。義玉と。名。を。し。ぬ。珠。と。毛。婿。西
施。が。婿。を。備へ。衣。通。小。町。の。色。を。敷。ふ。ん。を。や。り。つ。た。三。五。の。秋
れ。月。小。公。と。逢。し。二。八。の。表。れ。花。よ。お。ひ。を。凝。し。く。和。多。を。係。し
く。深。室。の。内。を。も。る。る。以。廊。ふ。片。ら。り。小。厮。小。富。吉。と。い。へ。六
歳。い。ま。ど。廿。六。満。ざ。ら。小。冠。者。な。ら。う。生。得。伶。利。う。く。書。數



新齋夜話

乙

ふか〜固薬店ハ市中の儒医なるも折々あり。要談
雑話よりバ彼等よりあるも法費の服六書とよ〜
一願る書生の趣なり〜
阿級ハ富者が伶俐〜
小郵公と待月月の末〜
も〜
松菱一句も〜
つ〜
此情を感ず〜
て〜

人の妻とあるん〜
生業をた〜
書り〜
ら〜
むらと若〜
孔〜
吉聡明の者〜
き〜
野〜
中〜

いた市店は仕方と小なるものを因りて進出されまかり
 うハ親ハ窮ニ窮と幸の富吉も憂ニ憂ニ憂成副なる。初ていそ
 一難なれば又うらやま今福の色へ保見とくくやりぬ。
 ありふりその地大村れりりーりり民大よ此まおのき種
 と負ひ老しを賜く五里七里延延る富吉が親ハ中風
 を病み死しぬ。今の主人も他へ去り付て。みははも位
 居る。四里よゆん位もなうてか。と室を流泊し埋田
 とよ一の茶毘場小なり。又保見と成る。き年月とたを
 逢へて早三年小及び九新設の人ある時ハ寺小送りく
 等の泣を授け。お三昧上早来く。強坊は修人。修て茶毘する

半あれどもいまだ没せられぬ。あばらく猪籠と祈事なり
 さんを葬子の人の強坊小波し。下火を待てて強もられぬ。
 その間ハ狼犬の遺跡と換。盗賊の遺跡を何れとされぬ。
 強坊より成人を付る事。一日例のどく葬送あり。未刻
 許よありぬ。強坊物く棺と受けぬ。送りぬ。下火とやち
 めやといへば。まも及び。貴傍へ任せらる。或る朝なん
 来るべきより。約し。まがく。身小ら。流る。此新没ハ未盛
 此處女がら。その形と。落勝をい。些小一束と切
 く。親衣と。葬し。つれ。の。片。燭。と。し
 身と。い。く。り。お。こ。ん。思。る。ん。な。ら。ん。父。母。も。い。と。を。

増くそのまゝなり萩一侍の保よ女ハ執事さとのなりな
どつてかつらぬ。後も磨くゆくと。高きを呼て霞ふ及つ。
来りく火下さん。それまで公付よと命じて。海にぬる高
独座し。寂寥のあまり。彼地を思ひぬぐは。性一
知音の致せ當り。情をく。女ハ貌をさるをぬく身と情む死
そのも形さる。今ハ新没の女もよ。は趣を
疑く。疑く。女ハ姿ふ。びやと。志さる。ゆる。且かる
一。且る。情さのゆる。立。棺の蓋と。用さ
覆る。衣とかげ。疑も。紋女なり。病り
月ハ夜をあら。肉脱。瘦の。容を。変。唇を

紅かり。さる。も。年月。花の。色。ふ。さ
て。つ。な。等。の。た。も。と。あ。ひ
小。不。同。を。棺。を。穿。く。その。冷。體。と。人。と。い。我。を。く。引
く。生。を。吹。く。む。よ。の。と。と。独。嘆。一。独。説。心。中。恍。惚。さ。る
や。棺。よ。う。い。は。れ。出。く。骨。と。接。觸。を。お。さ。る。あ。る。今。一。夜
身。を。た。き。り。せ。り。と。轉。狂。乱。も。女。の。と。く。あ。る。霞。の。新。没。の
面。に。せ。る。は。小。入。り。の。息。を。お。し。た。れ。を。塗。按。片
懐。中。小。あ。る。一。葉。に。小。入。り。て。水。を。流。さ。り。と。付。て。肌。を
温。め。る。せ。に。半。時。許。を。更。り。と。ひ。さ。る。一。向。愛。の。心
地。に。君。ハ。紋。女。小。あ。る。と。や。ゆ。る。あ。い。る。と。之。を。紋。女。と



新編 吉野

薬箱

薬箱

箱帳

木桂

富吉氏又且わられ尋常なりとて。是れ然とまじりし家
 ハ是れより一より。無業の情は深く。しられ家下。下級
 一帯も。強き。将実を。浮名を。く。人の。差。を。あ。ら。う。ら
 多慮の。歩。より。君。が。一。生。を。り。や。ま。り。し。む。ら。の。忠。し。と。た。ん。を
 恨。ま。あ。ふ。ら。ん。と。あ。ま。り。積。貯。の。病。と。な。り。く。は。る。よ。死。べ。く。是
 情。し。し。い。ま。り。て。今。再。い。生。ま。り。を。め。と。ま。り。ま。り。ま。り。に
 必。抱。せ。ら。う。事。の。不。審。さ。り。と。い。ふ。富。吉。も。一。刻。と。か。つ。と。と
 せ。が。茶。毘。坊。の。お。も。て。は。所。と。あ。り。く。種。生。せ。ら。る。もの。を。と
 打。殺。し。く。ぬ。ぬ。法。の。よ。う。一。切。の。ま。り。一。刻。も。あ。り。は。し。り。と
 去。ま。り。ま。り。と。棺。へ。い。あ。り。ま。り。ま。り。ま。り。と。蓋。と。と。め。後

女を。揜。ぎ。抱。き。て。門。を。出。れ。ど。も。何。事。と。さ。し。く。初。め。に。所
 なる。ま。り。い。う。せん。と。い。ふ。を。紋。女。の。壺。と。親。の。家。と。連。ゆ。と
 ぬ。れ。と。い。ふ。も。富。吉。思。ふ。は。往。年。無。実。の。答。り。を。あ。ら。せ。し。れ
 一。免。免。さ。に。あ。ら。む。主。人。を。怖。ら。う。ま。り。と。肯。り。の
 ば。ら。ら。乳。母。が。里。乃。重。根。崎。よ。互。へ。付。い。る。よ。と。い。ふ。ま。り。遠。く。と
 初。道。口。と。い。ふ。ま。り。と。い。ふ。し。た。れ。ど。ま。り。い。る。人。の。だ。ら
 一。腹。ま。り。さ。ら。ま。り。や。ら。か。ら。な。れ。ど。ま。り。い。る。鬼。窟
 裏。と。あ。ら。む。鬼。一。口。の。忠。し。く。幸。う。と。い。ふ。ま。り。と。い。ふ。ま。り
 くれ。う。若。く。は。ら。う。ま。り。ま。り。ま。り。先。あ。ら。む。ま
 医。治。と。ま。り。ま。り。痛。ま。り。と。い。ふ。ま。り。天。満。へ。か。と。ま。り。い。ま

嘆息するや。人々超えて。收骨小の。人用を。さるは。も
 有る。是は。皆々。双親を。けり。合家。且。且。恨む。も。ま
 近。選と。書つ。く。心。寄。る。く。刻。を。追。て。正。氣。を。わ。れ。れ。飲
 然。と。く。入。事。の。母。ハ。毒。殺。の。漢。神。の。後。富。吉。が。初。末。と
 皆。く。その。天。遇。の。不。可。思。議。を。感。一。極。て。け。く。ま。ね。き
 勢。せ。や。く。い。お。人。と。なり。一。追。て。嘉。辰。を。わ。く。故。女。と。夫。妻。の
 約。と。さ。う。め。家。業。を。譲。ら。ぶ。と。極。め。れ。ど。富。吉。も。復。年
 子。別。一。經。紀。と。い。え。本。老。實。の。り。の。な。れ。ど。年。と。追。て。ま
 富。業。し。夫。妻。連。理。の。契。り。を。な。り。今。よ。その。子。孫。小。西。を。家
 号。と。し。く。る。老。店。ら。い。と。と。わ

四 賣茶翁教弁の正道成語

享保のち。の。於。の。町。を。一。の。張。袋。を。背。負。ひ。心。の。芳。茗。と
 煎。じ。て。賣。歩。の。翁。あり。あ。つ。り。る。婆。を。か。ら。何。と。や。らん
 雅。情。あ。る。と。清。廉。の。意。化。之。と。い。は。れ。ば。近。樂。市。中。の。隠。士
 也。これ。張。袋。び。く。口。ご。い。ま。る。を。ま。ち。く。流。ら。は。ど。ま。れ。る
 名。さ。る。と。い。は。れ。ば。好。事。の。者。の。い。ふ。ち。り。り。く。賣。茶。翁。と
 よ。い。ば。善。く。と。い。や。ま。り。り。る。一。年。が。の。名。茶。と。い。ふ。千。の
 笠。雙。が。許。よ。茶。事。ら。り。て。自。門。化。つ。れ。あ。之。客。あり。初。産
 の。輪。矣。より。中。立。後。代。の。熟。茶。も。あ。と。く。早。中。各。主。の

風流玉雅と貴感せしめぬ相くともろがて寒く 閑淡を
 べーと。毎の向へ清く。客も安座ふ成ぬき。亭主干菓子茶と
 持あつらひ。清茶を点ト。口方ハ万れ味よつま。かの賣茶翁の
 言ふ。ふる昔。素朴の風情を好む。わがごとく。吟ぶる。ち
 二給仕せる。童の事りて。今なんその翁。つねに。茶坊賣
 侍らといひ。其王の使。皆く。く。何の興もなき。よ。若く
 わごどハ彼翁。呼入。て。行りて。見ざる。といひ。客もをのく
 いと。無あつ。ゆ。な。んと。誤。を。ら。う。に。童。く。吟。ぶ。あ。ね。
 ね。く。ま。ら。を。と。之。れ。ハ。氣。色。の。布。子。小。流。海。の。編。綴。を。忌。し。以。先
 小。齒。巧。い。なる。貌。の。六。十。五。なる。歌。さ。ぐ。ら。腰。の。ら。い。と。よ。引。ひ。

眉の霜せよと。亭主いらく。兼く。芳名ハ。吟。み。が。ら。等
 閑よ。色。形。ゆる。り。六。炉。の。名。跡。よ。珍。客。三。子。を。待。待。せ。し。ら
 為。無。の。茶。會。長。以。試。造。し。子。一。に。昔。又。通。行。せ。し。ら。と
 皆く。吟。入。ら。り。暫。く。抱。懷。ぢ。し。志。多。く。し。清。茶。一。服。お。よ。せ。を
 な。と。い。ひ。で。翁。儀。を。謝。辭。を。の。べ。か。は。賤。く。と。互。橋。の。僕。だ。ん
 そ。真。貴。の。御。茶。席。よ。入。る。と。し。と。ど。り。出。ん。と。す。る。を。客。より。も
 か。き。と。れ。押。さ。り。吾。儕。の。系。會。少。と。言。貴。の。族。よ。あ。ら。び。登。い。友
 位。の。人。な。り。と。も。以。賤。交。貴。も。茶。坊。の。徒。と。吟。り。の。と。を。と。い。ひ
 う。ち。よ。主。の。雙。柄。杓。お。よ。ら。り。一。服。を。点。ト。賣。茶。翁。よ。ら
 と。ふ。れ。ぬ。流。座。ハ。懇。懇。と。言。尺。一。膝。引。し。て。儀。で。拜。味。し

再び茶碗を戴く。紐は柄返し。元の所は戻し。膝退
 して平体せり。その進退各規。又當道。志うも角のやれ
 ころ奉止。今時茶碗家のもの。とりとも。後穿の及ふ。ふよ
 あらび。え。これ。ふ。ふ。と。あ。ら。う。ち。箱。穿。く。い。は。い。ま。御
 茶碗。井戸茶碗。といへる。名。悪。く。や。け。る。破。き。も。せ。さ。る。茶。碗。也。
 破。き。さ。る。と。く。漆。筋。を。画。り。け。る。へ。き。や。細。川。幽。糸。箱
 の。外。を。い。ふ。あ。ら。い。ふ。ら。し。ま。と。よ。く。あ。つ。る。名。物。也。何。れ。扱
 なる。井戸茶碗へ。換。へ。ら。る。と。と。ろ。ふ。お。の。ひ。け。る。と。い。ふ
 又。主。の。雙。ま。と。登。り。こ。し。は。成。布。と。志。り。け。り。を。名。物。ハ。今。高
 家の。御。物。と。成。け。る。と。改。り。て。換。へ。ら。る。と。そ。箱。の。目。利

忍入し。といふ。が。諸君も。先時。主。豊。の。自。贖。し。ま。を。其。の
 よ。知。ら。る。と。賣。茶。碗。の。掌。と。扱。中。う。み。足。さ。る。事。と。大。よ
 感。し。難。き。お。し。も。この。箱。穿。人。が。び。と。叫。く。ば。上。ハ。子
 茶。も。一。服。点。ど。ら。ん。と。と。と。湯。府。を。け。り。け。り。國
 く。辞。し。ゆ。と。去。り。も。不。審。晴。ぬ。箱。穿。を。茶。好。た。れ。ば。そ
 老。の。身。は。母。液。も。茶。減。り。け。り。今。れ。進。退。も。茶。礼。小。委。し
 さ。人。と。ら。る。と。子。後。の。忘。れ。あ。り。と。何。ぞ。う。り。れ。奉。さ。る。づ。き。
 強。よ。た。と。客。の。う。ち。より。中。ま。れ。け。り。を。箱。穿。去。た。程。と
 小。茶。常。所。扱。心。の。出。候。さ。ら。い。は。い。と。も。何。れ。や。と。さ。け。け。り。づ。き。
 主。此。豊。ハ。後。文。累。世。の。家。業。な。れ。ど。流。り。づ。き。扱。な。り。己



着下よりさくらば。茶道ハ雅遊といへる。又寂らるとは
 とも道といひ。極之を。只古く織りたる器を集め。ゆき
 曲まる木竹を。むせむ。寂らるる。よりいさげせらるる。がまう。東寺乃
 門の。ふ倉。よ。え。伝。り。し。石。具。ち。る。り。の。ゆ。松。し。伝。り。て。興。う。ま。く
 こそ。又。自。利。自。便。よ。古。道。具。廓。を。こ。ご。づ。し。つ。く。入。て。夫。く。出。ま。を。樂
 し。打。是。お。い。廢。ら。ふ。紙。與。し。古。を。集。ふ。ゆ。の。遠。る。は。だ。夫。を。い。う。よ。と
 とい。古。地。を。好。む。い。古。人。を。集。ふ。解。情。を。こ。ま。や。そ。人。既。よ。る。ぬ。ま。い。
 を。流。れ。り。流。る。と。そ。形。を。な。れ。き。法。下。京。也。よ。有。樂。翁。の。流。技。と
 集。めて。其。の。人。を。や。り。が。子。次。愜。ら。る。有。余。翁。の。流。の。茶。碗。一。つ。賣。人
 ち。と。若。干。金。出。り。買。取。り。其。冬。十。二。月。十。三。日。よ。き。茶。流。り。て。一。服。無。し。

故翁よ。い。前。後。あ。へ。も。出。さ。で。い。め。と。こ。傳。ら。と。と。と。これ。よ
 より。て。也。よ。い。人。の。香。も。も。ち。ぬ。垢。付。禪。り。り。き。古。茶。碗。を
 と。あ。げ。る。と。も。賣。ま。さ。き。地。り。ん。毛。乃。ゆ。け。ら。む。く。の。老。さ。が
 へ。り。を。殊。勝。の。形。を。り。や。と。詰。ま。る。も。あ。る。と。の。を。價。と。て。ら。ふ。
 わ。い。馬。工。高。茶。人。と。や。せ。り。は。づ。き。彼。よ。り。是。よ。よ。る。と。と。さ。い
 之。が。ゆ。ひ。の。茶。道。ハ。礼。あり。寂。を。兵。け。り。雙。を。て。一。款。な。る。は。
 是。を。茶。道。の。方。より。又。り。は。い。さ。あ。ふ。人。よ。さ。下。美。妙。あ。る。と。そ。
 本。意。を。ゆ。が。こ。か。り。べ。し。夫。人。の。寂。よ。る。と。も。妙。者。の。馬。を。好
 む。と。共。よ。る。け。り。は。只。よ。の。ま。く。が。分。際。と。と。ま。り。て。已。く。が
 風。雅。と。遊。り。ん。と。茶。流。の。正。路。な。ら。ん。と。流。益。大。悟。の。心。地。し。傳。り

